



大和なでしこ
血風録

撮影・上森清二

白の勝負服で登院した参議院の花々のファッション採点

この国の未来を託された与党の新人女性議員。初登院に共通するのは――。まずは右側、その鋭い眼光は国民に向いているのか、公明党・佐々木さやか議員(32)。ファッション評論家で愛知淑徳大学の山田登世子教授は、「濃いめのオフホワイトのジャケットに、膝ギリギリのスカート丈が絶妙。大きく開いたネックラインはアクセサ

リもなく、自分が綺麗なことをわかってる。女性から見てもお洒落だけど、公明党というのが残念ねえ」
続いて中央、真っ白のスーツにルイ・ヴィトン(約26万円)を提げた自民党・吉川有美議員(39)を評するのは、「第一線で活躍するトップスタイリスト。「キュツとしたウエストから、ふわっと広がったシルエットのペプラムも上

手く取り入れた上級者スタイル。しかし、制服的なのでどこかに差し色を入れた方がお洒落に見えるでしょうね」
左端、赤のワンピースに白を合わせた自民党・大沼瑞穂議員(34)は、「初当選、勝利のイメージで紅白なのか。パールも不釣り合いで統一感がありません。ただ、若々しさでカバーできていますけど」(前出・山田教授)

番外編として、与野党含め現役最長、7期目を数える自民党・山東昭子議員(71)は「ゴージャスな白に、ネイルに『JAPAN!』の文字も鮮やか」
「お洒落好きと思いますが、盛り沢山過ぎ。こういう方に世間の価値観が解るかどうか」(前出・スタイリスト)
いつまでも白いまま、くれぐれも国民のためを第一に。 撮影・本田武士

